

第7回 冬期道路交通確保対策検討委員会

議事要旨

1. 日 時

令和4年12月13日（火） 13：00～14：20

2. 場 所

中央合同庁舎3号館 11階 特別会議室（WEB併用会議）

3. 出席者

天野 真志	（株）中央公論新社 取締役社長室長
石田 東生	筑波大学 名誉教授・特命教授
片田 敏孝	東京大学大学院情報学環 特任教授
佐野 可寸志	長岡技術科学大学大学院 教授
関谷 直也	東京大学大学院情報学環 准教授

4. 議事要旨

議事（1）～（3）について事務局より説明し、委員より、

- ・ これからも短期間の集中的な降雪が増え続けることを想定した対応を考えていくべき。
- ・ 大雪が予想される際の国民・荷主等への行動変容の要請について、どのような手段やタイミング、内容で行うのか、予め計画しておくことが重要。
- ・ 車両滞留が発生した際に、情報発信がどのように伝わり、どの様な行動変容につながったのか、フォローアップを行うことも重要。
- ・ 除雪の担い手として地域建設業の確保について、行政からの支援が必要であり、検討を継続していくべき。
- ・ 情報発信や一時退避など大雪時の拠点として道の駅の活用が有効。
- ・ 限られた除雪能力・体制をどのように効率的に活用するか、広域連携や情報連絡本部の機能強化、訓練等が必要。

などの意見が出された。

以上